

【5 生徒のストレスへの対応】平成23年5月中旬から6月上旬

児童生徒のセルフケアの力を高めるため岩手県教育委員会は「いわて子どものこころサポートプログラム」を打ち出した。その内容は「こころのサポート授業」「担任による個別面談」「カウンセラーによる個別面談」の3つだ。次の方針で対応した。

- ① こころのサポート授業」では本校の生徒の実態に合わせて、取り組み方を工夫する。
- ② 校支援カウンセラーの活用については、担任だけでなく、生徒指導部も関わり、組織として対応する。
- ③ ストレスの度合いの高い生徒は、本校スクールカウンセラーや医療機関につなぐ。

(1) 「こころのサポート授業」と個別面談（どちらも全校生徒対象）

県教委からの資料をもとに別紙のように指導案を作成し、事前に校内研究会で指導の流れとポイントを確認した。

○工夫した点

- ①グループ活動に不慣れな生徒のことを考え、指導案に指導上の留意点を示した。
- ② 務主任と連携し事前指導（校内研修会）、事後の個別面談のための時間を確保した。